

情報便

ちょっと増やせる「付加年金」をご存じですか

年金額をもっと引き上げたいとお考えの方には、「付加年金」という制度が設けられています。

国民年金第1号被保険者の方(自営業などの方に限られ、サラリーマンなどの方とその被扶養配偶者 の方は除かれます)、任意加入被保険者が定額保険料に月額400円をプラスして納付すると、老齢基礎年 金に付加年金が上乗せして支給されます。

付加保険料と付加年金の額

付加年金の額は、「200円×付加保険料を納めた月数」の式で計算されます。

例えば、付加保険料を5年間(60カ月)納めたときの総付加保険料額の24,000円(400円×60カ月)に対 し、65歳から老齢基礎年金といっしょに支給される付加年金の額は年額12,000円(200円×60カ月)とな ります。付加年金を2年間受給すると、納付した付加保険料総額と同額になります(上記の付加年金額 は、65歳から受給した場合の金額です)。つまり、2年間で元金がかえってくるわけです。これは、付加保 険料を10年納めた方、40年納めた方についても同じことが言えます。

公的年金を損得勘定で考えるのには一部のご批判もありますが、あえて言えば、この厳しい「超低金 利時代」にあっては、朗報と言える制度ではないでしょうか。

付加年金は、老齢基礎年金とあわせて受給できる終身年金です。ただし、物価の上下に対応した「物価 スライド制度」(増額や減額)などはありません。

一方、付加年金は老齢基礎年金といっしょに支給されるため、繰上げ支給または繰下げ支給をしたと きには、本体の老齢基礎年金と同じ割合で減額または増額されることになります。

納付期限を過ぎると納められません

付加保険料を納められる方は、次のとおりとなっています。

- ①自営業者などの国民年金の第1号被保険者の方に限られます。
- ②半額免除などの一部免除を含め、保険料を免除されている方は付加保険料を納められません。
- ③60歳以上65歳未満の方など、国民年金の任意加入者の方も付加保険料を納めることができます。
- ④国民年金基金に加入中の方は、付加保険料を納められません。

付加保険料の納付は、申し込んだ月分からとなります。なお、納付期限を過ぎると納められません。

納付をやめても掛け捨てになりません

納付期限は翌月末日(休日・祝日の場合は翌営業日)です。付加保険料の手続きと相談先は、下記の窓 口となっています。

なお、付加保険料を納付している方は、いつでも任意のときに申し出て、その納付をやめることがで きますが、その場合でも掛け捨てにはなりません。

<問い合わせ先> 苫小牧年金事務所 電話 0144-36-6135



ストップ・ザ・交通事故!

-めざせ 安全で安心な 北海道-

日高町の交通事故件数

○発生件数 ○死 者 数 ○傷 者 数 2013年10月31日現在

「町民一人ひとりが交通マナーを寄り、

突通事故の故い社会を目指しましょう。」

★冬夕イヤ・冬ワイパーに交換

タイヤやワイパーを早めに冬用に交換しておくか、または突然の降雪に備えて必ずタイ ヤチェーンを携行しておきましょう。※スノーブラシも忘れずに・・・

★冬道では、路面状況をしっかりと確認し細心の注意を!

冬道は、じわ~っと運転、じわ~っと転がし、じわ~っと止める。 「発進をじわ~っと、ハンドルをじわ~っと、ブレーキをじわ~っと」

★冬道ブラックアイスパーンに差意

初冬期の早朝や夜間には気温が下がり、雨などで濡れている路面が凍結してアイスバー ン(ブラックアイスバーン)になっていることがあるので、濡れた路面での急ブレーキや 急ハンドル急加速は禁物です。

★シートペルト金店着用

シートベルトを着用していれば4割以上の人が軽傷以下ですんだと思われます。車に 乗ったら運転者はもちろん助手席・後部座席も正しくシートベルトを着用しましょう。

≪スリップ事故を防ぐために≫

- ・雪や氷の溶け始めや凍り始めの時間帯に注意する。
- ・急ブレーキや急ハンドルなどの急のつく運転はしないのはもちろん、 平坦な路面でも油断せず路面の変化に即応できるような運転に心がける。
- ・自分の運転技術や車の性能を過信しない。



ほくとくん

鹿の飛び出しによる事故が増えているので運転には十分気をつけましょう

毎月15日は道民交通安全の日

交通事故抑止7大セーフティーキャンペーン

- 1. 高齢者事故防止
- 自転車走行ルール・マナーアップ
 シートベルト全席着用
- 4. スピードダウン
- 5. 飲酒運転根絶
- 6. 居眠り運転防止
- デイ・ライト実践

◇デイ・ライトで安全運転 昼間のライト点灯に協力を!

〈昼間点灯効果〉

- ◎自らの安全意識が高まる
- ◎遠くからでも確認されやすい
- ◎ドアミラー等を通して確認されやすい
- ◎雨や曇りの日は特に目立つ